

Relief

リリーフ

2012
April

vol.7



CONTENTS

連続講座 「いのち」を考える

救急フェア 身につけよう応急手当

公募助成 公募助成先一覧
公募助成先活動紹介

事業計画 平成24年度事業のご案内

TOPICS 公募助成(活動助成)先の活動予定
編集後記

(表紙写真：平成23年度活動助成事業「第3回 灯りでつながる夜」/灯人【紹介記事P6】)

参加者により灯されたキャンドル。
JR福知山線列車事故で実感した
多くの人々との「つながり」の大切さと
事故の「風化防止」。
そして、被害に遭われた方への「こころのケア」。
それらを表現する「灯人」によるキャンドルイベントが、
2月の冬の夜空の下、開催されました。

公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団

〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目4番24号 TEL:06-6375-3202 FAX:06-6375-3229
E-mail: jrwarzaidan@westjr-anshin-f.jp http://www.westjr-anshin-f.jp/

「いのち」を考える



① 5月9日(水)



Profile

柏木 哲夫

金城学院学院長
 淀川キリスト教病院名誉ホスピス長
 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長
 JR西日本あんしん社会財団理事

「死にざまこそ人生～
 『ありがとう』と言って逝くための10のヒント」

多様な角度から
 「いのち」に焦点を当てた
 連続講座を新たに開催。

私はこれまでにホスピスという場で約2,500名のがん患者さんを看取りました。その経験から感じることは「人間は死を背負って生きている」ということです。

「定年後、夫婦揃ってゆっくりと温泉へでも行きたいと思っていた矢先に夫が癌で倒れました」と、ある中年のご婦人が言われました。「子どもたちが皆独立して、夫婦揃ってゆっくりと温泉へでも行きたいと思っていた矢先に妻が癌で倒れました」と、ある中年の男性が言われました。私はこれらの現象に「矢先症候群」という名前を付けました。生の延長上に死があると思っていたのに、実は死を背負って生きていたことがわかる訳です。

生と死は一枚の紙のようなものだと思います。生が紙の表だとすると、紙の裏には死が裏打ちされているのです。風によって

紙が簡単に裏返るように、死が突然やって来ることがあります。震災や交通事故によって、多数の人が予期しない死を迎えることもあります。

東日本大震災から1年以上になります。15,000人以上の尊い「いのち」が失われ、まだ3,000人以上の方々の生死が不明の状態です。この未曾有の震災を経験して、日本人の誰もが「いのち」や「死」について考えざるを得なくなりました。

このような状況の中で、開講される連続講座「『いのち』を考える」は時宜を得たものだと思います。10名の講師はそれぞれの専門分野・観点から「いのち」について語ります。皆様のごからの人生に参考となる講座であると思います。

② 5月16日(水)



窪寺 俊之

聖学院大学大学院教授
 元関西学院大学神学部教授

「スピリチュアリティ考
 ～癒しをもとめて」

③ 5月23日(水)



鎌田 東二

京都大学
 こころの未来研究センター教授

「むすびと無常：日本人のいのち観
 ～神道と仏教と神仏習合文化を
 手がかりに」

④ 5月30日(水)



早瀬 昇

社会福祉法人
 大阪ボランティア協会常務理事

「悲しみに向き合う
 市民の関わり」

⑤ 6月6日(水)



林田 吉司

あしなが育英会東北事務所長

「あしなが育英会東北事務所の
 活動の報告」

⑥ 6月13日(水)



上野 創

朝日新聞東京本社販売局首都圏第1部次長

「がんと向き合って」著者
 「がんと向き合って
 ～患者となった1記者の経験から」

⑦ 6月20日(水)



永田 萌

イラストレーター
 絵本作家

「希望を描く」

⑧ 6月27日(水)



山形 謙二

神戸アドベンチスト病院院長

「死を生きる：ホスピス医療の
 現場から」

⑨ 7月4日(水)



西村 隆

ALS患者
 「神様がくれた弱さとおほえみ」著者

「あまりにも弱いいのちを生きて
 ～ALS患者のまなざし」

⑩ 7月11日(水)



若林 一美

立教女学院短期大学学長
 ちいさな風の会世話人

「悲しみを通して見えること」



身につけよう応急手当



(救命事例)

平成23年10月、大阪環状線のある駅で突然お客様が倒れ心肺停止状態となりました。居合わせた2名のお客様が胸骨圧迫を行い、車掌がAEDを使用し、2回目の電気ショックで意識が回復。その後、救急隊員による救命処置でのちには救われました。

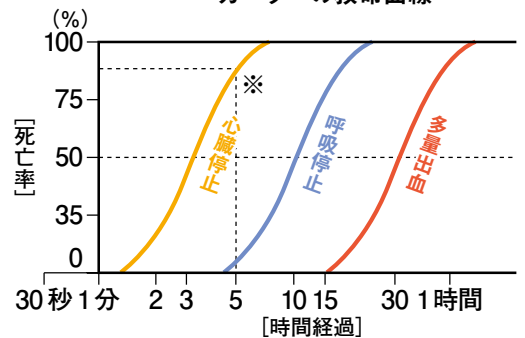
身近で人が倒れることも

総務省消防庁によると、平成23年中の救急車の出場件数は570万件にもものぼり、ここ10年で約130万件も増加しています。事故・災害時だけでなく、普段の生活の中で身近で人が倒れることも珍しくありません。

救急車到着までの5分間が 力を握る

救急車が現場に到着するまでの平均時間は、大阪市内で約5分。このたった5分間の空白が急病人のいのちを大きく左右します。

心臓停止などの緊急事態における経過時間と死亡率の関係
カーラーの救命曲線



※心臓停止後

5分間放置=死亡率90%→救急車の現場への到着平均時間

近くの人々による初期救護が重要です。そのためには、日頃から
応急手当の知識と技術を身に付けておく必要があります。

「救急フェア」で、気軽に体験。

各消防署や地域のNPO法人等と協力し、応急手当普及員と一緒に心肺蘇生法やAEDの使用方法などを気軽に体験できる、JR西日本との共催イベント「救急フェア」を開催します。ご参加をお待ちしております。ぜひ体験してみてください。

■平成24年度予定

日程	開催場所	日程	開催場所	日程	開催場所
5月19日(土)	JR三田駅	9月8日(土)	JR宝塚駅	10月20日(土)	JR伊丹駅
5月26日(土)	JR京都駅	9月9日(日)	JR天王寺駅	10月27日(土)	JR大阪駅
6月2日(土)	JR三ノ宮駅	9月17日(月・祝)	JR奈良駅	10月頃(調整中)	JR尼崎駅
6月16日(土)	JR和歌山駅	10月6日(土)	JR高槻駅		



公募助成先一覧



「平成 24 年度公募助成 (活動・研究)」と「第2回東日本大震災に関する活動助成」の助成先 36 件 (約 3,400 万円) が決まりました。

事故・災害への備え、心身のケアや東日本大震災の被災者支援といった様々な活動や研究が行われます。

今後、この紙面で、活動内容についてご紹介していきます。

「平成 24 年度 公募助成 (活動・研究)」助成先一覧 (助成期間:平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

活動テーマ	団体名 [所在地]
非心停止例への対応・災害時の互助を支援するための「応急手当コース」の確立と普及事業	特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会 [大阪府大阪市]
子どものための水面安全レスキューサポーター養成	特定非営利活動法人オーシャンゲート ジャパン [大阪府大阪市]
ありがとう・おかげさま・おたがいさま～作業所復興応援・支援市	ガリレオクラブインターナショナル [兵庫県神戸市]
香りとタッチの応援隊 (アロマセラピストが、身体とところをほぐします)	特定非営利活動法人関西アロマセラピスト・フォーラム [兵庫県宝塚市]
西宮市および周辺都市における県外避難者の支援	関西学院大学災害復興制度研究所 [兵庫県西宮市]
住民主体のサークルをきっかけとした仲間づくり	関西学院ヒューマンサービスセンター [兵庫県西宮市]
市民に対する小児の救急救命処置の啓蒙 —“不慮の事故による子どもの死亡”をなくそう—	近畿大学医学部 奈良病院 小児外科 [奈良県生駒市]
熊野地区復興基盤造り事業	熊野百間溪谷自然学校 [和歌山県田辺市]
キッズ防災検定	特定非営利活動法人検定協議会 [兵庫県神戸市]
東日本大震災被災者のための兵庫での受け入れ (一時滞を含む) 事業	特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター [兵庫県神戸市]
①災害時要援護者避難訓練・全世帯避難訓練 ②子どもサバイバルキャンプ (防災訓練)	桜ヶ丘2丁目自治会 [奈良県北葛城郡上牧町]
防災まちづくり 「災害に備えて—地域と企業の取組み—」防災活動発表会&「防災「地産地消」—よいもの・わかりやすいもの—」展	特定非営利活動法人震災から命を守る会 和歌山県本部 [和歌山県和歌山市]
「4・25あの日を忘れない」 ～被害者の真の回復と、事故の風化防止、安全で安心できる公共交通機関の実現を願って～	「空色の会」 ～ JR 福知山線事故・負傷者と家族等の会～ [兵庫県川西市]
台風 12 号被災者応援事業	つれもて和歌山 [和歌山県和歌山市]
第 4 回 灯りでつながる夜	灯人 [兵庫県伊丹市]
・セラピードック派遣事業 ・災害救助犬の育成事業	特定非営利活動法人日本レスキュー協会 [兵庫県伊丹市]
災害・救急時、要援護者支援活動	晴美台校区福祉委員会 [大阪府堺市]
障害者の防災～自助力向上! ワークショップの開催事業	特定非営利活動法人びーす [大阪府堺市]
～ JR 福知山線列車事故 被災者支援募金イベント～ ①第 7 回フレンズかわにしフェスティバル ②第 2 回フレンズかわにし講演&コンサート	フレンズ川西フェスティバル実行委員会事務局 [兵庫県川西市]

研究テーマ	研究者名
安心して受け、実施できる救急医療の法システムの研究	京都大学公共政策大学院 特別教授 小西 敦
被災地における仮設住宅団地のコミュニティサポートに関する研究	奈良県立大学地域創造学部地域総合学科 専任講師 古山 周太郎
事故による外傷性脊髄損傷患者の生活習慣病の発症予防に関する研究	大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室 教授 佐浦 隆一
被災状況の上空からの撮影・提示システムに関する研究	神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻 准教授 深尾 隆則
災害モニュメントを活かした災害に強いまちづくりの研究	近大姫路大学教育学部通信教育課程 講師 松下 正和
大学生の“素朴な”心のケアの実践者になるためのプログラム開発とその評価: キャンプの実践を通じて	畿央大学教育学部現代教育学科 助教 良原 誠崇
自転車と二輪車、及び自動車の共生に関する研究	帝塚山大学心理学部心理学科 教授 蓮花 一己

「安全で安心できる社会」の担い手へ（平成24年度公募助成贈呈式&交流会）

平成24年3月29日、平成24年度公募助成先を対象とした贈呈式が、関係者約40名の参加のもと開催され、贈呈書の授与などが行われました。また、その後の交流会では、助成先の方々を中心に、財団役員等とともに意見交換が行われ、盛会のうちに終了しました。



助成先代表：
NPO法人
オーシャンゲートジャパン
代表 白杉さんの挨拶

「私達が当たり前だと考えている安全は多くの方の努力の積み重ねである。この助成により、私達も安全で安心な社会を築くために努力していきたい。」



助成先の皆様との記念撮影



理事長からの贈呈書授与



交流会での活発な情報交換

【第2回 東日本大震災に関する活動】助成先一覧（助成期間:平成23年10月1日～平成24年9月30日）

活動テーマ	団体名【所在地】	主な活動予定地	
宮城県山元町、被災家屋の復旧及び再建支援と仮設住宅の寄り添い型の相互活動の導入	縁の下のもぐら【兵庫県芦屋市】	宮城県	山元町
311 Healing Flower Project TOHOKU-HYOGO Safety Japan	近畿グループホームスタッフ研修会【兵庫県西宮市】	岩手県 宮城県	大船渡市 気仙沼市 他
岩手県内の仮設住宅で住民の健康向上と傾聴を目的とする“足湯”などの活動	神戸大学 学生震災救援隊【兵庫県神戸市】	岩手県	陸前高田市 大槌町
おもちゃ図書館開設支援と移動おもちゃ図書館	特定非営利活動法人 湖西生涯学習まちづくり研究会どろんこ【滋賀県高島市】	宮城県 福島県	東松島市
被災地で活動するボランティア支援事業	社会福祉法人視覚障害者文化振興協会 (JBS 日本福祉放送)【大阪府大阪市】	岩手県 大阪府	宮古市
「福島・丹後 スプリングキャンプ」	特定非営利活動法人たんご村【京都府宮津市】	京都府	宮津市
みちのく だんわ室	東日本大震災被災者さんへの「暮らしサポート隊」 【兵庫県神戸市】	兵庫県	
仮設住宅支援「外出困難者おでかけ」事業	兵庫県移送サービスネットワーク【兵庫県明石市】	福島県	田村市
東日本大震災により西日本へ避難している被災者自身が運営する避難者と支援者の会	まるっと西日本 ～東日本大震災県外避難れんらく会～【大阪府大阪市】	西日本全域	
東北・太平洋沖地震 心のケア 活動	Union International Association for Volunteer (通称ユー・アイ・アソシエーション)【兵庫県伊丹市】	岩手県 宮城県 茨城県	久慈市 気仙沼市 高萩市 他

◆「第3回東日本大震災に関する活動助成」の募集を行いました!!

東日本大震災の被災地・被災者には、まだまだ多くの支援が必要です。当財団では、近畿2府4県を起点に被災者支援を長期的に実施していくために、3回目となる活動助成の募集を行いました。4月13日に応募を締め切り、現在審査選考中です。

公募助成先活動紹介

平成 23 年度は 30 件の活動、研究に助成を行っています。

平成 24 年 1 月から 3 月までに行われた 5 つの助成活動をご紹介します。

「甲子園口いっせいで避難訓練」

甲子園口地区まちづくり協議会
(0798-66-0036 (火・木・土 10～16時))

阪神淡路大震災をきっかけに結成され、防災や地域の安全に関する地域ぐるみの活動を毎月1回行っています。



1月21日、甲子園口地区全住民を対象とした一斉避難訓練が行われ、約2,000名が参加しました。訓練終了後は上甲子園小学校で「AED操作体験コーナー」や「土嚢作製体験コーナー」で、災害時に必要な知識や技術を体験しました。

「第2回講演会 高次脳機能障害」

頭部外傷や病気による後遺症を持つ
若者と家族の会 京都支部
(075-632-8461)

怪我や病気により脳に障害を負った高次脳機能障害者に対する支援活動や、障害に関する講演会を行っています。



見えない障害とも言われる高次脳機能障害について考える講演会が、1月15日に京都市内で行われました。関西各地から約20名の方が参加。精神科医から高次脳機能障害の診断と症状の特徴について解説を受けるとともに、リハビリテーションと介護の方法など、参加者の実体験に基づく意見交換が行われました。

阪神淡路大震災が発生した1月17日を前に、東日本大震災の被災地へ届けるメッセージを募集する「シンサイミライノハナ PROJECT」が1月15日に行われました。約1,500人の参加者が記入したメッセージカードから作られた「シンサイミライノハナ」で会場は満開となりました。

「シンサイミライノハナ PROJECT」

NPO法人 Co. to. hana
(06-6654-8830)

「ワタシにとっての震災とは」という内容のコメントが書かれたカードで作った花のオブジェ「シンサイミライノハナ」。その花を街中に飾ることで、阪神淡路大震災の教訓を共有し、人と人、地域と地域のつながりを築いています。



「第3回 灯りでつながる夜」

灯人(ともしび)
(080-5330-1951)

福知山線列車事故で被害に遭われた方や支援者でつくる団体。事故の風化防止と事故関係者の心のケアに取り組んでいます。



2月18日に伊丹市内でキャンドルイベントが行われました。参加者が灯したキャンドルにより、事故発生日の「2005.4.25」やハート型が形作られ、JR福知山線列車事故で感じた人とのつながりの大切さと事故の風化防止を訴えかけていました。



「冬季防災訓練」

大芝連合運営協議会防災部会
(072-439-5900 (火～金))

地域住民の防災意識の向上を目的に、住民を対象とした地域全体の防災訓練と防災講座を年2回行っています。



2月12日に岸和田市内で冬季防災訓練が行われました。大芝地区の住民約600名が参加。訓練開始と同時に地域ごとに小学校まで移動する避難訓練を行った後、AEDの操作方法やロープワークなど、災害時に必要な知識や技術に関する講習会が行われました。

平成24年度事業のご案内

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

連続講座「『いのち』を考える」の新規開催、公募助成や「救急フェア」の充実など、地域との連携に重点を置いた「安全で安心できる社会」の実現に向けた様々な事業に取り組んでいきます。

各事業の詳細は、当財団ホームページ等でお知らせします。

1 心身のケアに関する事業

- 連続講座「『いのち』を考える」
連続講座(年間20回予定)を新規に開催(詳細はP2参照)
- こころのセミナー
支え助け合う社会の中で生きる素晴らしさを実感できるセミナーを開催
(平成25年1月13日(日)開催予定)
- グリーンケアに関わる人材養成講座への助成(上智大学グリーンケア研究所)



2 地域社会の安全構築に関わる事業

- 安全セミナー
今年度はヒューマンファクターをテーマに開催
(平成24年8月27日(月)開催予定)
- 救急フェア
今年度はJR西日本の20駅程度に拡大して開催
(詳細はP3参照)



3 「安全で安心できる社会」の実現に関わる事業

- あしなが育英会「高校奨学生をつどい」や小中学生対象の「キャンプをつどい」への助成
- 電話相談員のスキルアップやメンタルケアへの助成
(関西いのちの電話、神戸いのちの電話)



4 公募助成事業

- 第3回東日本大震災に関する活動助成
東日本大震災の被災者支援を継続していくために公募助成を実施(詳細はP5参照)
- 平成25年度公募助成(活動・研究)
事故、災害等が起こった際の備えやその後の心身のケア等に関する活動や研究への公募助成を実施(秋頃募集予定)
- 「東日本大震災に関する活動助成報告会(仮称)」及び「第2回活動助成報告会」の開催
今年度は、東日本大震災に関する活動助成の報告会も新たに開催。(9月～11月頃開催予定)



TOPICS

公募助成(活動助成)先の活動予定

現在助成を行っている団体の今後の活動予定をご紹介します。詳細につきましては、各団体へ直接お問い合わせください。



フレンズ川西 フェスティバル 実行委員会

～JR 福知山線列車事故 被災者支援募金イベント～ フレンズ! かわにし2012

(TEL:090-3164-9556 又は
E-mail:friendskawanishijikko@
yahoo.ne.jp)

日程 平成24年4月15日(日) 11時～18時

場所 アステ川西 びいふう広場(屋内)
(兵庫県川西市栄町25-1 ※最寄駅阪急川西能勢口駅下車徒歩1分)

内容 JR 福知山線列車事故の風化防止と被害者への支援イベントとして、プロギタリストやゴスペルチーム、アマチュアバンドによる音楽ライブを行なうほか、JR 福知山線列車事故被害者をゲストに迎えてトークセッションを行います。

「空色の会」～ JR福知山線事故・ 負傷者と 家族等の会

4.25 あの日は忘れない・ メモリアルウォーク 2012

(FAX:0798-68-3162 又は
E-mail:fukakai0425@gmail.com)

日程 平成24年4月21日(土) 13時(13時半出発)

場所 上坂部西公園緑の相談所前
(兵庫県尼崎市東塚口町2-2-1 ※最寄駅JR塚口駅下車徒歩3分)

内容 平成22年4月より毎年行っている活動で、JR 福知山線列車事故被害者の回復と事故の風化防止を願いつつ、安全で安心な社会づくりへの思いを新たにすため、事故のあった沿線の塚口駅から献花台を経由し、尼崎駅まで歩きます。また4月7日以降、安全で安心できる公共交通機関の実現を願って「空色の菜」がJR宝塚線沿線の書店を中心に配布されます。(FAX 又はメールにて要事前申込み)

認定NPO法人 日本 レスキュー協会

見学会

(TEL:072-770-4900 又は
E-mail:info@japan-rescue.com)

日程 平成24年5月13日(日)、6月10日(日)、7月8日(日)
各日とも9時～11時 ※毎月第2日曜日に定期開催

場所 認定NPO法人日本レスキュー協会
(兵庫県伊丹市下河原2-2-13 ※最寄駅JR北伊丹駅下車徒歩10分)

内容 緊急時に十分な活動ができるよう災害救助犬の認知度向上を図るため、模擬瓦礫等を利用した災害救助犬の訓練の様子を公開します。当財団からの助成金により育成されている災害救助犬の成長や訓練の過程もご紹介いたします。(5月は生後間もないため、写真による紹介のみとなる場合もあります)(定員40名、電話又はメールにて要事前申込み)

NPO法人 関西アロマ セラピスト フォーラム

～寄り添う心、支える手～ 震災支援と日本復興への アロマセラピー

(TEL:070-6564-4050 又は
URL:http://aroma-kansai.org/)

日程 平成24年5月13日(日) 10時～17時
(当日は同団体の第5回総会が行なわれた後、10時より開催されます。)

場所 兵庫医科大学 9号館(9-2,3,5 講義室)
(兵庫県西宮市武庫川町1-1 ※最寄駅阪神武庫川駅下車徒歩3分)

内容 東日本大震災の被災者にアロマセラピーを行っていきにあたり、アロマセラピストとして災害看護に携わってきた方々を招き、被災地でのアロマセラピーの実施例を紹介するほか、これからの支援活動を共に考えるセミナーを開催します。(定員130名、ホームページより要事前申込み、参加費5,000円)

NPO法人 オーシャンゲート ジャパン

子どものための 水面安全レスキュー サポーター養成講習会

(FAX:06-6212-6277 又は
E-mail:oceanate@fancy.ocn.ne.jp)

日程 平成24年5月19日(土) 10時～17時半

場所 白崎海洋公園(和歌山県日高郡由良町大引960-1)
※最寄駅 JR 紀伊由良駅下車タクシー乗車15分(最寄駅からの送迎応談)

内容 乳児・小児、大人のダミー人形を用いて最新の応急手当や人工呼吸法を学べるだけでなく、プールや海洋でのレスキュー技術、サポート方法が習得できる講習会を開催します。(定員12名(最小催行人数3名)、FAX 又はメールにて要事前申込み、参加費4,200円)

編集後記



新たな出会いの時季4月がやってきました。

私達も、この時季に多くの方との新たな出会いが生まれるように広報誌をリニューアルいたしました!

タイトルもこれまでの「財団NEWS」から私達の事業内容を表す「Relief」(リリーフ)に一新させ、

写真を多く掲載した読みやすい誌面に努めてみましたが・・・いかがでしたでしょうか?

気軽に考えていたのですが、これまでのイメージを大切にしつつ、リニューアルすることは大変でした。

制作者の方をはじめ多くの方々の協力により漸く完成し感無量です。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後も「Relief」をお楽しみに。(編集者:小山)